



ニュースレター



NPO 法人大阪環境カウンセラー協会 第 25 号 July. 2008
 Osaka Environmental Counselors Association, Nonprofit Organization

・平成 20 年度 環境大臣「地域環境保全功労者表彰」・受賞!

今年の 11 月 7 日で、大阪環境カウンセラー協会 (OECA) 発足 10 年を迎えます。時の経つのは早いもの、環境カウンセラーの活動を一から体得して、まるで蝸牛のようにジグザグ歩行してきました。

6 月 11 日 (水)、昨年の「大阪市環境賞」に引き続き、大阪市の推薦で環境大臣より「地域環境保全功労者表彰」(地域環境保全の推進のため、多年にわたり、顕著な功績のあった者・団体) 受賞しました。OECA 設立 10 年の年に受賞したことは意義深く、大きな感激であり、今後 OECA の自信に繋がるものと思っています。日頃お世話になっている国、自治体、各種団体、企業など OECA をご支援していただいた方々に厚くお礼申し上げます。また、この間会員の皆様のご大きな支えをいただき、大過なく活動を続けることができ、改めて会員の皆様に心から感謝いたします。

19 年度は、3R 部門の活動が出来ませんでした。環境教育部門・事業部門・EA21 地域事務局大阪の踏ん張り、新たに「大阪市環境経営推進協議会事務局」をお引き受け出来たことで、全体の活動にほとんど影響がありませんでした。

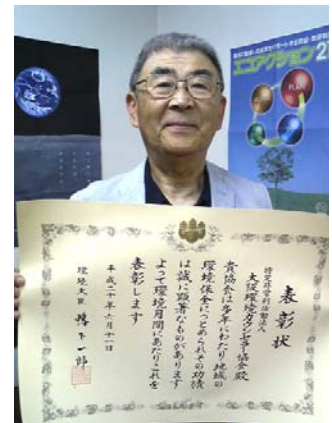
20 年度は「大阪市環境調査隊」も引続き実施することになっています。

積極的な参加をお願いいたします。また、特に増加が予想される EA21 普及活動に対応するために、EA21 地域事務局員の増加を行います。また、11 月 8 日 (土曜日) には、OECA 10 周年記念行事を予定しています。

益々強まる環境保全活動への追い風を受けて、効率的な活動を、楽しく仲良く、健康的に 20 年度も共に頑張りましょう。



環境省HPより転載



理事長 高井 茂

・第 8 回通常総会開催される

大阪環境カウンセラー協会・第 8 回通常総会は平成 20 年 5 月 24 日 (土) 13:00~14:00 piaNPO6 階会議室で開催された。

定刻、定員数に達したので、司会 (中本執行理事) から総会の開会が宣言され、議長に満場一致をもって阪野 喬氏を選任した。続いて議長挨拶の後、議事に入り、次の議案が審議・承認された。

平成 19 年度事業報告、平成 19 年度決算報告、平成 20 年度事業計画、平成 20 年度事業計画・予算が承認された。役員の変更の件では、次の通りとなった。

理事には、高井茂、阪野喬、宇田吉明、大畑明、島林泰人、吉村孝史、小林正中、長澤弘一郎氏の 8 名と監事に森 (義信) 氏がそれぞれ選任された。

総会終了後、例年のように「地球温暖化防止活動推進セミナー 2008」が開催され、菅野伸和氏 (松下電器産業(株) 環境渉外・企画担当部長) が、電機・電子業界の①温暖化防止における自主行動計画、②省エネ家電の促進、③エネルギー供給面での取り組みと、同社の取り組みについて講演された後、平嶋 雅雄氏 (元岡山大学講師、工学博士、技術士、) が、2013 年までの京都議定書の第 1 約束期間に突入した現在の、温室効果ガス削減に関する日本と世界各国の現状を解説するとともに、2013 年以降の「POST13」に向かったの動向を紹介された。この後、交流会で会員相互の意見交換などが行われ無事に総会、セミナー、交流会を終了した。

(事務局:塚本記)



エコアクション21 地域事務局大阪の活動報告

エコアクション21 地域事務局大阪の事務局を2005年4月に開設、運用開始して4年目となり、現在の認証・登録事業者件数は228件にのびます。また、エコアクション21 中央事務局（IGES）の認証・登録事業者件数も2,540件の登録となり、認定地域事務局の開設も35都道府県47団体となりました。

一方、IGESでは5種類の業種別マニュアルも作成され、“エコアクション21”の制度が一段と充実されて来ました。

5月2日に大阪府内の市町村で初めて地域事務局大阪の「自治体イニシャティブ・プログラム」に参加された、河南町役場がエコアクション21 認証取得されました。

河南町役場は環境にやさしいまちづくりを目指して、率先して環境への取組みを行なってきました。

20年度もエコアクション21の大きな広がりが予想されています。この普及促進を図る活動として、大阪環境カウンセラー協会と共同で、エコアクション21の説明会や普及セミナーを大阪府下各地で実施。そのほか、エコアクション21普及定例講座やエコアクション21 無料相談会を実施しています。また、事務局ではEA21 普及委員会による、EA21 普及戦略会議や審査人スキルアップセミナーを月1回の予定で実施しています。

(エコアクション21 地域事務局大阪 北 潤明)



事業部門 本年度の活動計画

事業部門では平成20年度は次の事業を推進してゆきます。

- 大阪市市民環境調査隊受託事業（主担当：飯田）
 - ・ 市民による大阪市環境基本計画の実施状況の確認・評価と提言を行う事業をアドバイザーとして支援
 - ・ 大阪市はこれらの提言も考慮し、基本計画の見直しを行う。
- なにわエコ会議「環境に配慮した企業部会」支援活動（主担当：宇田）
 - ・ 大阪市環境経営推進協議会（OECA事務局：塚本）と連携し、セミナー、研修会、見学会などの推進を支援する。
- エコアクション21 普及（主担当：宇田、大畑）
 - ・ 自治体イニシャティブ・プログラム、グリーン化プログラムへの講師派遣
 - ・ 普及セミナーやフォローアップセミナーの開催
 - ・ 無料相談会（毎月第三土曜日10時～12時）
 - ・ EA21 スクールの開催（事業者の希望に応じた4回程度の集合研修）
 - ・ EA21 普及戦略会議の開催（毎月第3土曜日14時半～17時）
- ISO14001 内部監査員養成研修会（主担当：藤井、塚本）
 - ・ 定例研修会（奇数月開催）
 - ・ 出張研修会
- その他自治体、事業者、市民・市民団体との協働による環境活動
- その他事業者向け環境啓発、環境対策支援活動
- 新たな事業の開拓・開発（主担当：島林）

大阪市市民環境調査隊受託事業は、他市には例が見当たらない規模で実施される市民・自治体・NPOとの協働による重要な取り組みと位置づけていますので、会員皆さまのご協力をお願いします。

なにわエコ会議「環境に配慮した企業部会」（部会長：宇田）では、中小企業向けEMSの普及など環境配慮の促進を行っていますので、なにわエコ会議の団体会員（OECAで登録）・個人会員として皆さまのご支援をお願いします。

エコアクション21については、毎月、普及戦略会議を開催し、この中で、自治体や事業者との協働について、積極的な取り組みを展開していますので、審査人の方は万障繰り合わせてご参加ください。

その他、新たな事業の開拓・開発にも取り組んでいますので、各会員の自主的・積極的な取り組みをよろしくをお願いします。

(事業部門：部門長 宇田吉明)

大阪市環境経営推進協議会・事務局 活動報告

大阪市環境経営推進協議会は設立から早くも、満1年が経過しようとしていますが、この間、講演会、各種セミナー、視察研修会の開催、個別・電話相談会、ニューズレターの発行など種々な行事を実施してきました。大阪環境カウンセラー協会では、大阪市から事務作業などの業務委託を受けてこれらの諸行事の企画運営に積極的に参加し、滞りなくその役目を果たす事が出来ました。ご協力を頂いた会員様に改めてお礼を申し上げます。

同協議会の平成20年度の通常総会が6月17日に開催され、昨年同様に本年度も大阪市からの業務委託を受けることができました。通常総会後の講演会では、「CDM（クリーン開発メカニズム）と日本の排出量取引の動向」（野邑奉弘：大阪市立大学名誉教授）と「不都合な真実」の映画鑑賞があり、126名の参加者を得て、好評の内に終える事ができました。

総会員数は数百社もあり、環境カウンセラーとしての活躍の場も多くありますので、本年も当協議会の運営により多くご協力をお願いいたします。 **（事務局 塚本 勝）**



大阪市市民環境調査隊 活動報告

平成20年度市民環境調査隊事業支援業務委託を受託致しました。この事業は平成16年度から開始され、平成19年度からコンペ形式（提案型公募）で発注されるようになり、OECAの企画提案が認められて5年連続の受託となりました。

この事業は市民・大阪市・NPO・学識経験者が連携による「協働」を実行することにより、大阪市の環境施策に市民の目線で提言し、大阪市の環境施策の進捗と継続的改善に寄与しようとするものです。今年度の活動の特徴は第Ⅱ期大阪市環境基本計画の期限が平成22年度で終了することから、時期新計画への取組に市民意見を反映させる準備を行う要素も含まれています。平成20年度の目標は

コンセプト：「大阪の環境のええとこみつける（大阪のまちをどないしたいねん）」
「協働」意識の共有・各主体間のコミュニケーション・政策提言へのレベルアップ

としています。

今年度は従来の調査隊事業に加え、新計画への市民意見の反映が目的とされているために、ある種の政策提言としての協働提言を視野に入れることが必要です。これは、従来の協働提言をレベルアップしなければ、大阪市の基本計画の内容として満足できないと考えています。新計画への市民意見の反映の条件は次のとおりです。

1. 大阪市が実行可能な施策の提言であること。
2. 市民の目線でみた施策の提言であること。
3. 可能であれば市民参加型の施策の提言であること。
4. 各主体の協働・連携により調整された提言であること。

大阪市が実行可能な施策とはどんな条件があるのかを、市民に説明することが必要と考えられます。18年度、19年度の提言は各主体の協働・連携により調整された提言ではありますが、必ずしも大阪市が実施可能な提言ではありません。今回は新計画に反映すると言うことであれば、確実に大阪市が実施することを前提の提言となる必要があります。

OECAは4年間、この事業に関与し、実績やノウハウを蓄積してきましたが、今年度はNPOとしての本来の役割を果たす重要な活動になりそうです。

4年間OECA会員の皆様の協力で、5年連続の受託に至ったことはOECAの質と活動が認められたということに他なりません。このような信頼に応えるため会員皆様のよりいっそうのご協力をお願いいたします。 **（大阪市市民環境調査隊総合アドバイザー 飯田哲也）**

環境教育部門 活動報告 (環境講座)

「台所を取り巻く環境問題と食の安全」

台所を取り巻く環境問題と食の安全には

1. 世界を取り巻く環境問題
2. 食の需給
3. 輸入食品
4. 食品リサイクル
5. 食の安全
6. 食中毒

がありますが、**食中毒予防の3原則**（・付けない、・増やさない、・殺す）から成り立つ**食中毒の予防の6つのポイント**について、ご紹介します。



ポイント1 食品の購入

- 生鮮食品は新鮮なものを購入する。
- 消費期限などを確認し、購入する。

ポイント2 家庭での保存

- 冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったら、すぐに冷蔵庫や冷凍庫に入れる。
- 冷蔵庫や冷凍庫の詰めすぎに注意する。目安7割程度。

ポイント3 下準備

- 手を洗う。肉、魚、卵を取り扱った後には、また手を洗う。
- 肉や魚などの汁が、果物やサラダなど生で食べる物や調理の済んだ食品にかからない様に。

ポイント4 調理

- 調理を始める前にもう一度、台所を見渡して見る。下準備で台所が汚れていませんか？タオルやふきんは乾いて清潔なものとの交換する。そして、手を洗う。
- 加熱して調理する食品は十分に加熱する。加熱を十分に行うことで、食中毒菌がいたとしても殺すことができます。目安は、中

心部の温度 75℃で1分間以上加熱することです。

ポイント5 食事

- 食卓に着く前に手を洗う。
- 調理前の食品や調理後の食品は、室温に長く放置しない。例えば0-157は室温でも15~20分で2倍に増えます。

ポイント6 残った食品

- 残った食品を扱う前にも手を洗う。残った食品はきれいな容器、皿を使って保存する。
- 残った食品は早く冷えるように浅い容器に小分けして保存します。
- 時間が経ち過ぎたら、思い切って捨てる。
- 残った食品を温めなおす時も十分に加熱する。
- ちょっとでも怪しいと思ったら、食べずに捨てる。口に入れるのは絶対やめる。

(6月10日、大阪市地域女性団体協議会主催、クレオ大阪中央での環境講座《食と環境》のレジメから抜粋。)

(執行理事 松崎 洋)

「地球温暖化防止への取組み」

6月21日(土)、京都橘高等学校の1・2年生640人を対象に、①地球温暖化防止の意義、②防止策として学校でできること、③皆さんにこれから考えて、をテーマに文化講演会を行った。同高校は、明治35年京都手芸女学校として創立され、京都市伏見区桃山の緑豊かで閑静な丘陵地にあり、今も女子が7割を占めている。

当日は前夜に異常気象をも伺わせる大雨が降り、折りしも体育館の開いていた窓から吹き込んだ雨が階下にある大ホールの舞台周辺に滴り、生徒たちが急いで床掃除をしていた。写真のステージ上にバケツや新聞紙が写っているのはこのためである。

講演では、担当の先生が提案する「学校環境家計簿活動」の展開に向けて、学校全体(1,100人対象)や家庭で有効と思われる省エネ、節水、廃棄物削減の具体策につき、エコアクション21システムを参考にしながら、先生方、生徒会、部活で連携して環境活動を行なうよう提案した。また国や府の促進事業への参加案4件も紹介した。最後に、「もったいない」の気持ちをもって、「辛抱・がまん」しながら、良いと思ったことは「隗よりはじめ」、環境問題のニュースに注目するようエールを送って講演を終了した。



(エコアクション21審査人 中野 政男)

環境教育部門 活動報告 (自然環境部門)

本年4月20日、“環境ネットはびきの”とのコラボレーション行事「石川の野草観察と試食」を羽曳野市のレンゲ農場で実施しました。OECA・福田が講師を担当、当会員を含む参加者総勢36名という盛況でした。

石川は和歌山県かつらぎ町から流れ、大和川に合流し大阪湾に注いでいます。右の写真は野草の観察と採集場所、石川での“食べると危険な毒草”解説の様子です。

ともすると慌てて食べられる物を探そうとしますが、まずは紛らわしい有毒植物を憶えてから採集する事が事故防止の上で大切です。

野草は天ぷらにして皆で美味しくいただきました。

特に野生のセリやノビルの鱗茎などが好評で皆さん満足そうでした。

夏過ぎには、OECA会員・富平講師による「海辺の生物観察会」を予定しています、後日、日程等お知らせしますので、奮ってご参加下さい。

自然環境部門長 福田 裕



大阪環境カウンセラー協会・自然環境部門：羽曳野市石川の、「野草調べと試食」に参加して



これは「環境ネットワークはびきの」という羽曳野市を中心とする民間ネットワークがアースデーにちなんだイベントで、環境カウンセラーでもあり、大阪府自然環境指導員(OECA福田さん)の野草についての説明のもと、野草を採取し、野草を天ぷらにして食べようというもの。

ノビルはネギに似た匂いがします。特に球根がおいしく、皮をむいて、生で、みそをつけて食べるとおいしいそうです。葉も天ぷらにするとおいしいそうです。球根の部分折らないように、土を掘って、ていねいに採ります。「おいしい」と聞くと、みんなしゃがみこんで、一生懸命、熱心に土を掘って採っていました。



天ぷらの会場は石川の近くにあるレンゲ牧場です。レンゲ牧場では「農と食を楽しむ会」の皆さんが畑を耕して野菜を作っています。麦やニンニク等も作っていました。

黄色い花がいっぱい咲いているので、多くの人は「菜の花」だと思っていました。でも、これは「西洋カラシ菜」という名前です。花を揚げている時も黄色い色で、とても華やかです。ヨモギは匂いが強く、油が悪くなりやす

いので、最後に揚げるのがいいそうです。食べておいしい草は、ノビル(ネギのような匂い)、タンポポ(黄)、西洋カラシ菜(黄)、セリ、クレソン、ヨモギ、カラスノエンドウ(紫)等です。

「食べる」という醍醐味がついているのか? 予想もしないほどのたくさんの方々が集まり、さわやかな風のふく中で野草の採取を行い、天ぷらに舌つづみを打ちました。

(OECA会員・倉田 恵子 HP: <http://www.eonet.ne.jp/~sorasora/kecology.html> より転載)

活動報告 (イベント)

アースデー
4月20(日)
大阪市 なにわ
エコ会議
(大阪市・扇町
公園)

地球の生態系を維持していくために、環境問題の大切さを市民にイベントを通してアピールし、それに賛同して協力していただくことを呼びかけた。
担当：猪尾、塚本



会場は1つのテントで、なにわエコ会議、大阪環境カウンセラー協会、地球環境センターの3団体が同居した。当日、晴天の日曜日で市民の足は伸びた。会場では地球温暖化防止をアピールするさまざまな余興やエコライブ発電自転車の試乗会が催された。この催しは若者に人気があった。(執行理事 猪尾 英雄)

「すいた環境・
教育フェア20
08」
6月21日(土)
吹田市文化会館
(メイシアター)

この環境フェアにはOECAは2002年より連続7年に亘って参画して来ました。今回は例年好評を博している省エネ実験に新たに燃料電池自動車、風力発電機、



太陽光電池自動車などのモデル実験を加え、新エネルギー関連技術の現状の啓発にも努めました。特に燃料電池自動車は子供さんだけではなく大人の方にも大きな関心が寄せられ、専門的な質問も出て賑わいました。手回し発電実験は例年どおりの人気で多くの子供さんが訪れてくれました。今回の我々の活動は吹田ケーブルテレビでも取り上げられ放映されることになっています。(理事 長澤弘一郎)

TOPICS

「環境落語」の導入

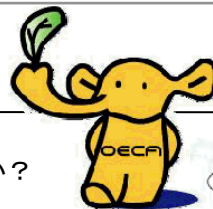
みなさんは、研修や講義に出席して眠たくなることがありませんか？いくら、興味のある演題でも、なぜか、眠たくなるものです。ましてや、環境にかかわる講座は、難しい言葉が連発されて、一般の方には分かりにくいものもたくさんあります。

このような、環境講座を一般の方が笑いの中で、おもしろく、一緒に環境を考えることができないだろうかと思案するうちにできたのが「環境落語」の導入です。

OECAの出前講座において、環境落語を導入する機会があり、6月13日関西電力南港発電所の環境講座、6月19日大阪市女性協会クレオ大阪西の環境講座で「環境配慮型暴走族」という環境落語を披露しました。

プロの噺家ではないので完璧に演じることはできませんでしたが、セミナーの雰囲気や印象がお客さんには良かったように思われました。

執行理事 飯田哲也



編集後記：4月20日、「野草観察と試食」が羽曳野市で開催され、講師の福田氏は入院中の病院から現場に駆け付け講師を務められています。環境保全活動に対する彼の情熱が写真から伝わってくるようでした。次回「海辺の生物観察会」が予定されています、会員の皆様奮ってご参加ください。

EA21(環境経営システム)の普及活動がいろいろな分野に広がりを見せている中、5月に河南町役場(大阪府)が認証登録された。町域の約3分の1の山地部が金剛生駒紀泉国定公園に指定され、古くから開けたこの地には、さまざまな古墳、遺跡などの文化財がある人口約18,000人の町です。

「町づくり元年」と位置付け、町の宝(豊かな緑、きれいな水)を守ることを目標にEA21の活動を展開されています。河南町のEA21導入・成果が期待されます。

老舗高級料亭の消費期限、賞味期限切れ品の販売、産地偽装、食べ残し料理の「使い回し」等が話題になりましたが、食の安全、不足、自給に関する問題も気になるところです。前記、河南町では住民との協働で「地産地消」や「循環型農業」を目指した取り組みが推進されています。この時期、松崎氏の環境講座から食中毒予防のポイントを掲載しています。ご参考まで。(中島記)

発行者：NPO法人 大阪環境カウンセラー協会
住所：〒552-0021 大阪市港区築港2-8-24
piaNPO 411号
TEL:06-6599-0600 FAX:06-6599-0607 e-mail: info@osaka-eca.org http://www.osaka-eca.org/

発行人：高井 茂
編集：中島延雄
発行：平成20年7月

